

出羽庄内国際村音楽祭2023



旅する音楽祭

Kimiyo Ogawa invites Mezcal Jazz Unit Japan tour 2023



Mezcal Jazz Unit
メスカル・ジャズ・ユニット



小川紀美代
タンゴ (バンドネオン)



フローレス・デュオ
folklore

11月4日(土)

開 場/18:00 開 演/18:30

会 場/出羽庄内国際村ホール

料 金/大 人 2,500円 当日 3,000円

小中高生 1,500円 当日 2,000円



本公演ならびに各地の公演の詳細、
ご予約方法は、公式HPで順次お知らせします。
<https://bnproject.wixsite.com/mezcal2023>

主 催: 出羽庄内国際村音楽祭2023実行委員会

後 援: 鶴岡市・鶴岡市教育委員会・在日フランス大使館/アンスティチュ・フランス

お問合せ: 出羽庄内国際村 電話0235-25-3600



助成: SPEDIDAM (フランス)



助成: CNM (フランス)



国境を越え、人と人をつなぐオリジナルな音楽

Mezcal Jazz Unitは、1986年に南フランスのモンペリエで結成。メンバーの個性豊かな音楽性が、現在のヨーロッパジャズの流れにみごとに溶け込んでいる。それは、地中海の気質、伝統的なメロディに加え、東洋文化への共感、爆発的なエネルギー、そしてユーモアのセンスを感じさせるもので、聴衆との一体感がなよりの魅力だ。彼らの活動のコンセプトは“ici et ailleurs”(ここと他の場所)。世界各国を訪れ、東ヨーロッパ・インド・アジア・アフリカ・アメリカの才能あるミュージシャンと深く交流し、理解し合うことで、お互いの文化から唯一無二の音楽を作り上げた。 <http://www.mezcaljazzunit.com/>



心に響く"小川紀美代"のバンドネオン

ほぼ独学で奏法を学び、2001年単身ブエノスアイレスへ渡る。2003年と2017年、アルゼンチン最大の音楽祭・コスキンプェスティバルに日本代表として出演。2010年、南米縦断ツアー。2018年、アルゼンチン国立タンゴ博物館所蔵のアニバル・トロイロのバンドネオンでのブエノスアイレス録音と日本ツアー。アジア各国のアートフェスに招聘されるなど美術・映像・演劇との共演多数。独自のスタイルはヨーロッパでも高く評価される。

<http://www5c.biglobe.ne.jp/~kimiyo/>



地球の裏側の音楽なのに、なぜか懐かしい

南アメリカのペルー、インカ帝国の古都・クスコ出身。30年前に来日し、大阪府豊中市を拠点に全国各地で音楽活動を展開してきた。南米の伝統音楽であるフォルクロレを基礎に、世界の音楽から新しいリズムやサウンドを取り入れたオリジナル曲は、卓越したテクニックと叙情感あふれる歌声、兄弟ならではの絶妙のハーモニーで、世代・国境・文化の違いを超えて、聴く者を魅了する。

<https://florezduo.com/>

奇跡の出会いから音楽が生まれる

南フランスの美しい町を拠点に世界各国のミュージシャンと演奏してきたMezcal Jazz Unitが、バンドネオン奏者・小川紀美代を招いてコンサートを開いたのは、コロナ禍で音楽活動ができなくなっていた2021年11月。翌年4月には再度渡仏して9回の公演を重ね、互いのオリジナル曲を中心に創り上げた刺激と友愛に満ちたステージは、大きな話題を呼んだ。そして2023年秋、今度は小川紀美代がMezcal Jazz Unitを日本に招いて、全国ツアーが実現することになった。小川紀美代を中心に、フローレス兄弟とMezcal Jazz Unitの織りなすステージは、国境やジャンルを超えて、どんな音楽世界を創造するのだろう。その場を、ぜひ共有してほしい。

